

地球規模水循環変動が食料生産に及ぼす影響の評価と

対策シナリオの策定

【65(84)百万円】

対策のポイント

メコン河流域を対象として、水循環変動を組み込んだ**食料需給モデル**を開発し、食料生産に係わる水循環変動の影響を最小化するための**対策シナリオ**を策定します。

(食料需給の安定に役立つ対策づくり)

食料需給モデルとは・・・

人口の増加、産業の発展等により水の需要は増加していますが、水は有限な資源であり、水不足の深刻化が懸念されています。

水循環変動を組み込んだ食料需給モデルを開発することにより、将来の食料生産への影響が予測でき、対策シナリオの策定に役立ちます。

政策目標

対策シナリオを提示する研究集会や各種会合を開催し、我が国の食料安定供給の確保ならびに世界の水問題の解決と食料需給の安定を図ります。

< 内容 >

1. 水循環変動モニタリングと水循環変動を組み込んだ食料需給モデルの開発
衛星データや地理情報データを活用しながら、流域における水資源の変化が農地の水収支に及ぼす影響や農作物の生産性に与える影響を評価し、水循環の影響を組み込んだ食料需給モデルを開発します。
2. 水循環変動の影響を最小化するための対策シナリオ策定
開発された食料需給モデルを用いて将来の食料生産変動を予測し、水循環変動による影響を最小化するための資源管理技術等の対策シナリオを提案します。

[担当課：農林水産技術会議事務局国際研究課(03-3502-7466)]